

アンケート調査の概要

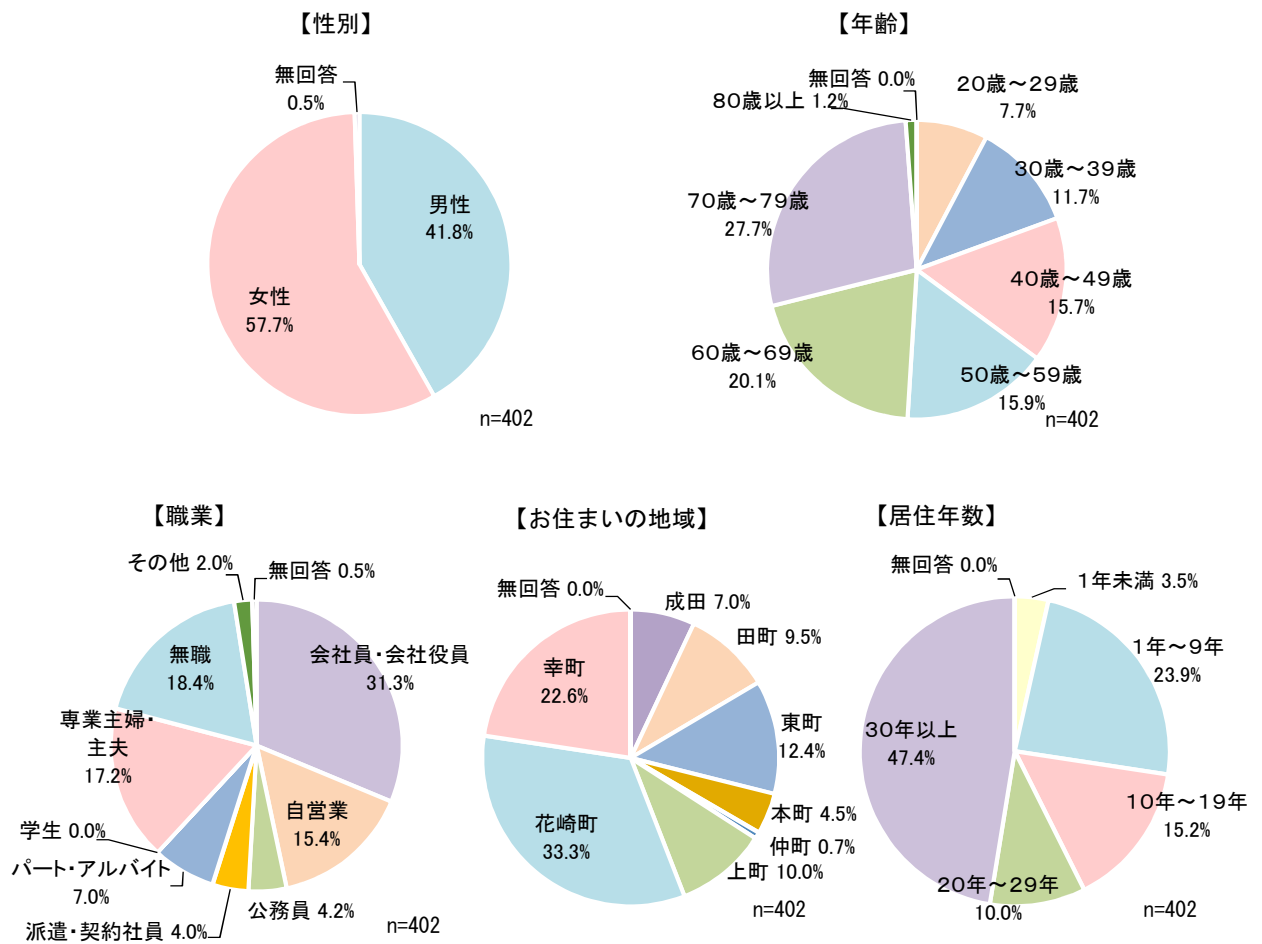
成田駅周辺地区

調査方法及び実施時期

実施概要は、以下のとおりである。

名称	成田駅周辺地区のまちづくりに関するアンケート調査
実施年月	平成30年10月9日～10月23日
実施方法	郵送による配布および回収
調査対象者	成田駅周辺地区にお住いの20歳以上の方（無作為抽出）
配布数	1,000票
有効回収数（回収率）	402票（40.2%）

回答者の属性

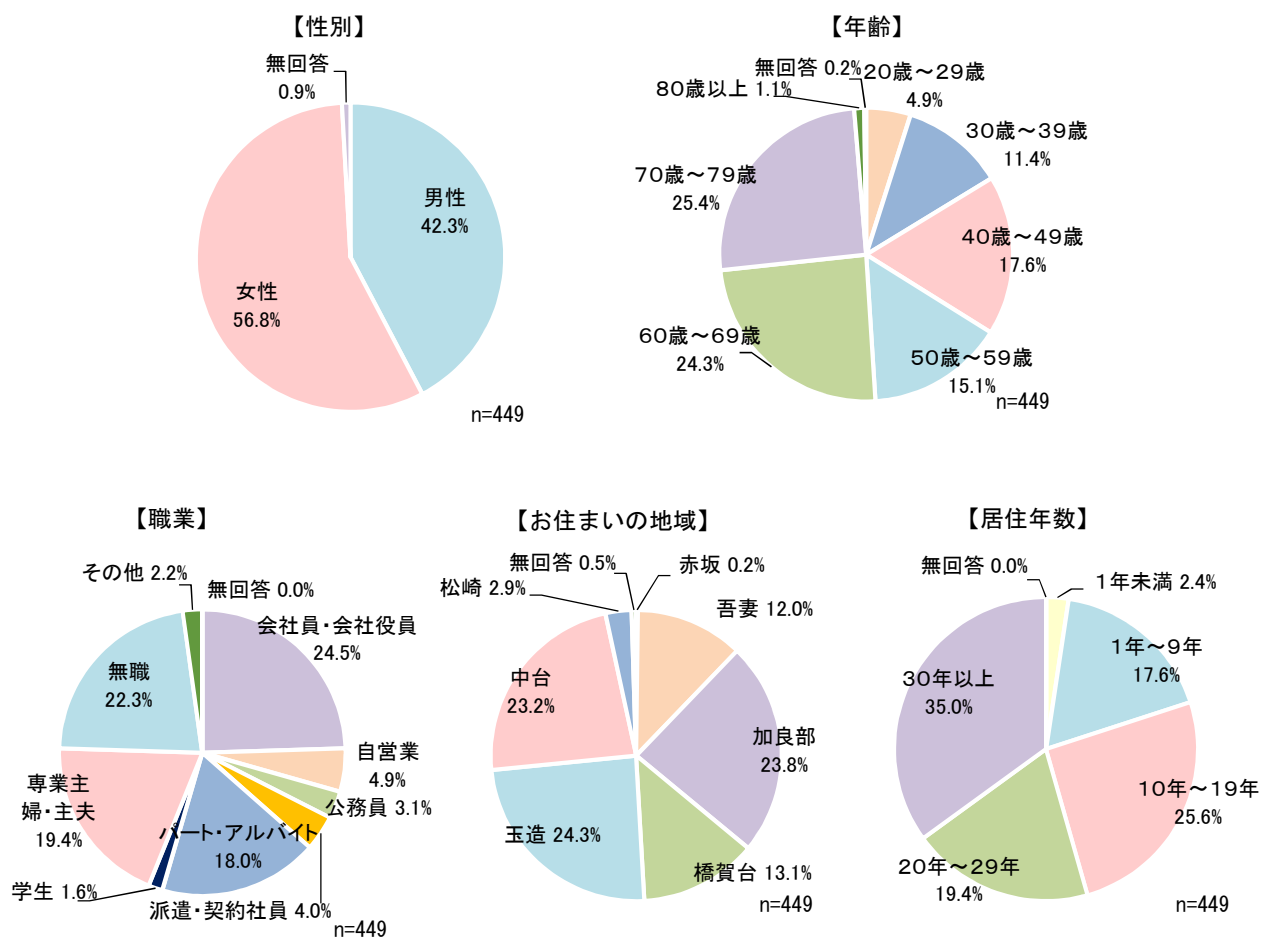


成田ニュータウン地区
調査方法及び実施時期

実施概要は、以下のとおりである。

名称	成田ニュータウン地区のまちづくりに関するアンケート調査
実施年月	平成30年10月9日～10月23日
実施方法	郵送による配布および回収
調査対象者	成田ニュータウン地区にお住いの20歳以上の方（無作為抽出）
配布数	1,000票
有効回収数（回収率）	449票（44.9%）

回答者の属性



アンケート調査の結果

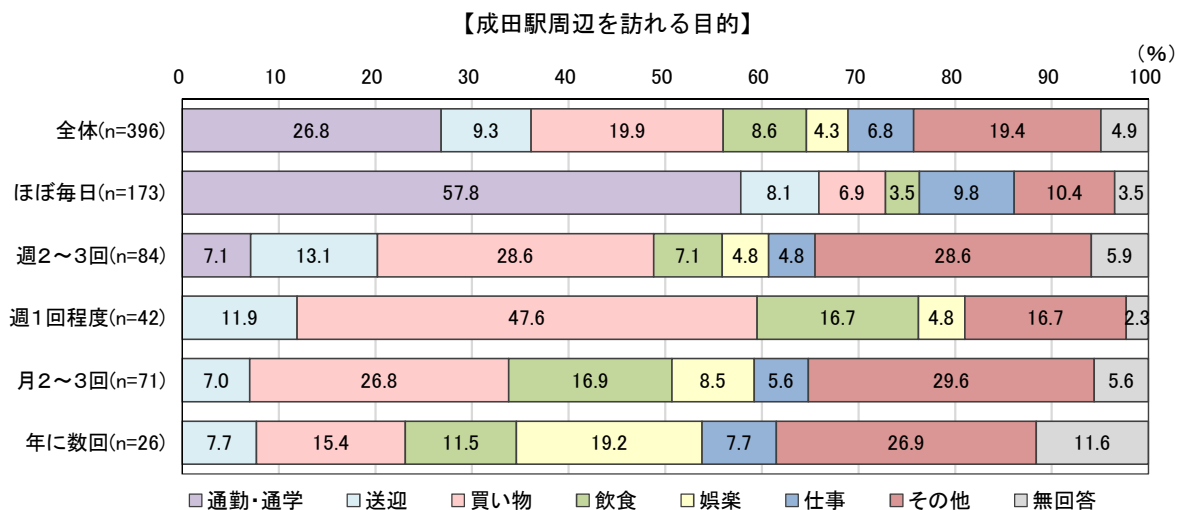
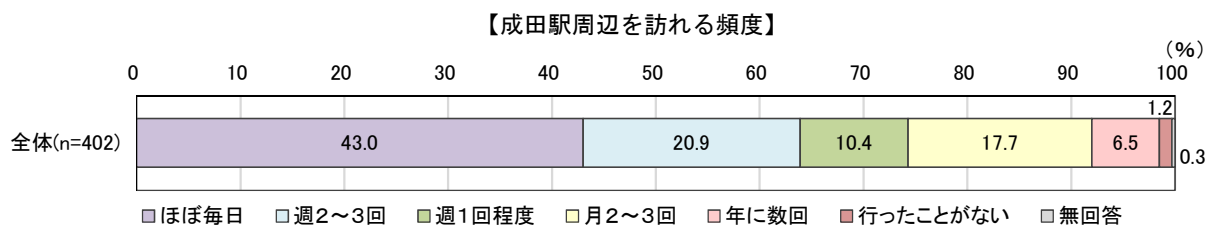
(1) 成田駅周辺地区

① 成田駅周辺について

成田駅周辺を訪れる頻度は「ほぼ毎日」が43.0%と最も多く、次いで、「週2～3回」が20.9%となっている。

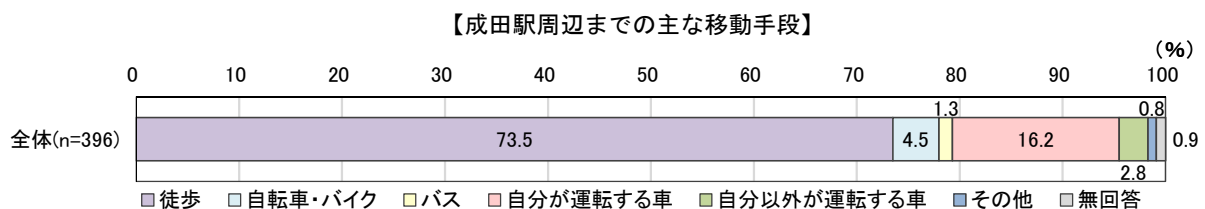
「ほぼ毎日」訪れる人の目的は「通勤・通学」が57.8%と最も多く、「週2～3回」「週1回程度」訪れる人では「買い物」が最も多く、それぞれ28.6%、47.6%となっている。

また、成田駅周辺までの主な移動手段は「徒歩」が73.5%と最も多く、次いで、「自分が運転する車」が16.2%となっている。



■ その他 ■ (キーワードで集計：複数のキーワードを含む回答はそれぞれに計上)

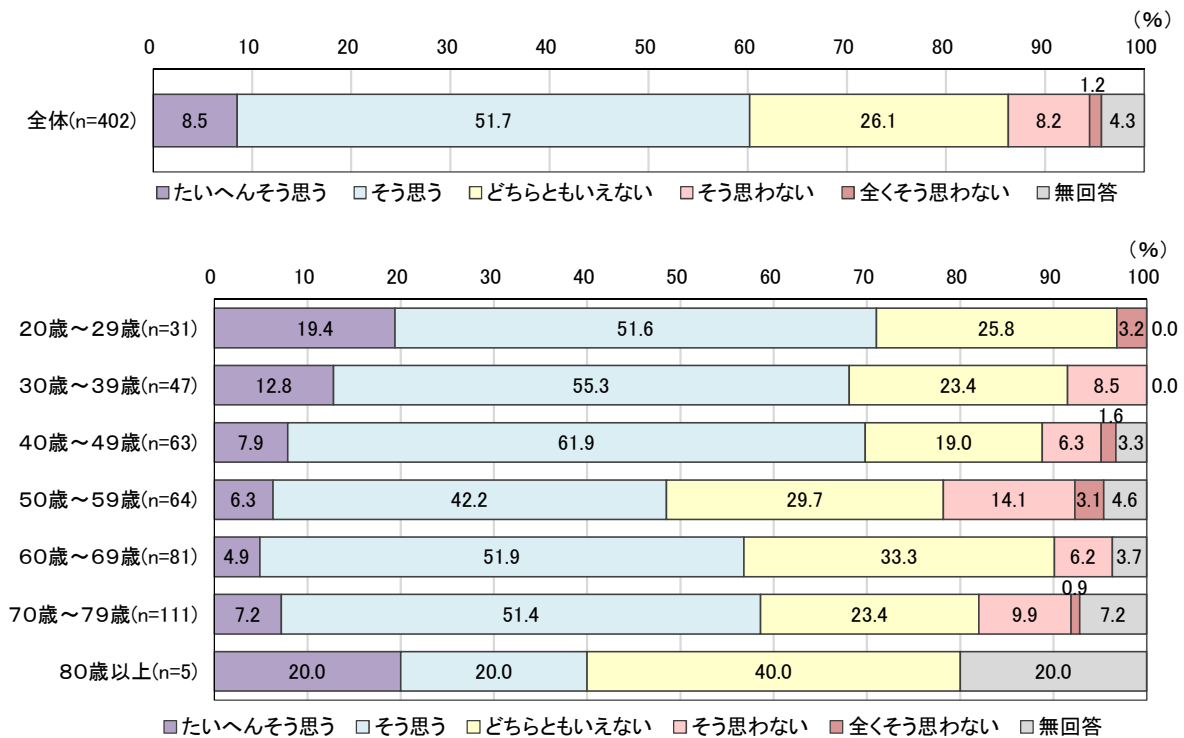
具体的な内容	散歩	銀行	居住	医者	通過	駅利用	その他
回答数	19	14	10	6	5	4	5



JR成田駅参道口と京成成田駅参道口・東口間が歩行による移動がしやすくなったと思う人は、「たいへんそう思う」「そう思う」を合わせて60.2%となっている。一方で、「そう思わない」「全くそう思わない」を合わせると9.4%となっている。

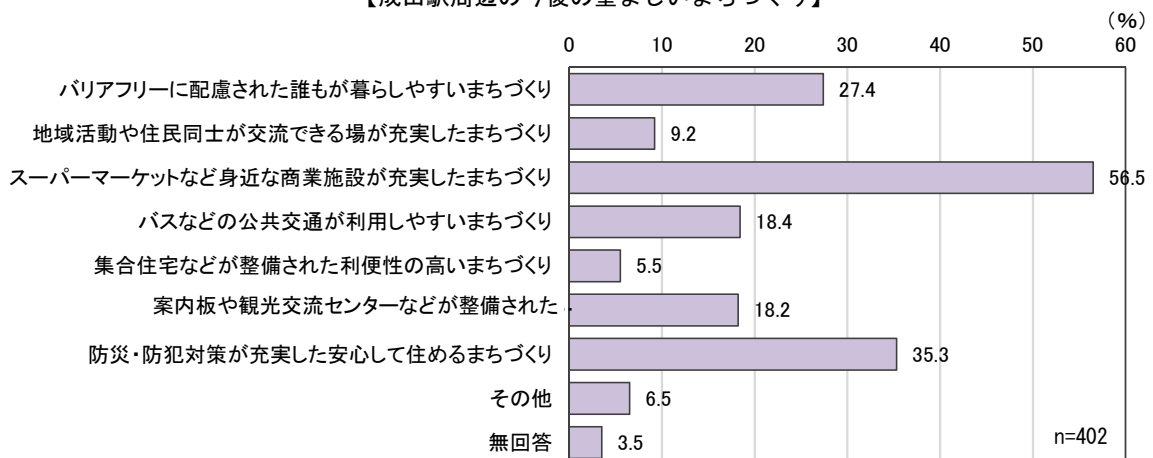
年齢別では、50歳未満では「たいへんそう思う」「そう思う」を合わせて約7割となっているが、50歳以上では6割以下となっている。

【JR成田駅参道口と京成成田駅参道口・東口間が歩行による移動がしやすくなった】



今後の望ましいまちづくりについては、「スーパーマーケットなど身近な商業施設が充実したまちづくり」が56.5%と最も多く、次いで、「防災・防犯対策が充実した安心して住めるまちづくり」が35.3%となっている。

【成田駅周辺の今後の望ましいまちづくり】

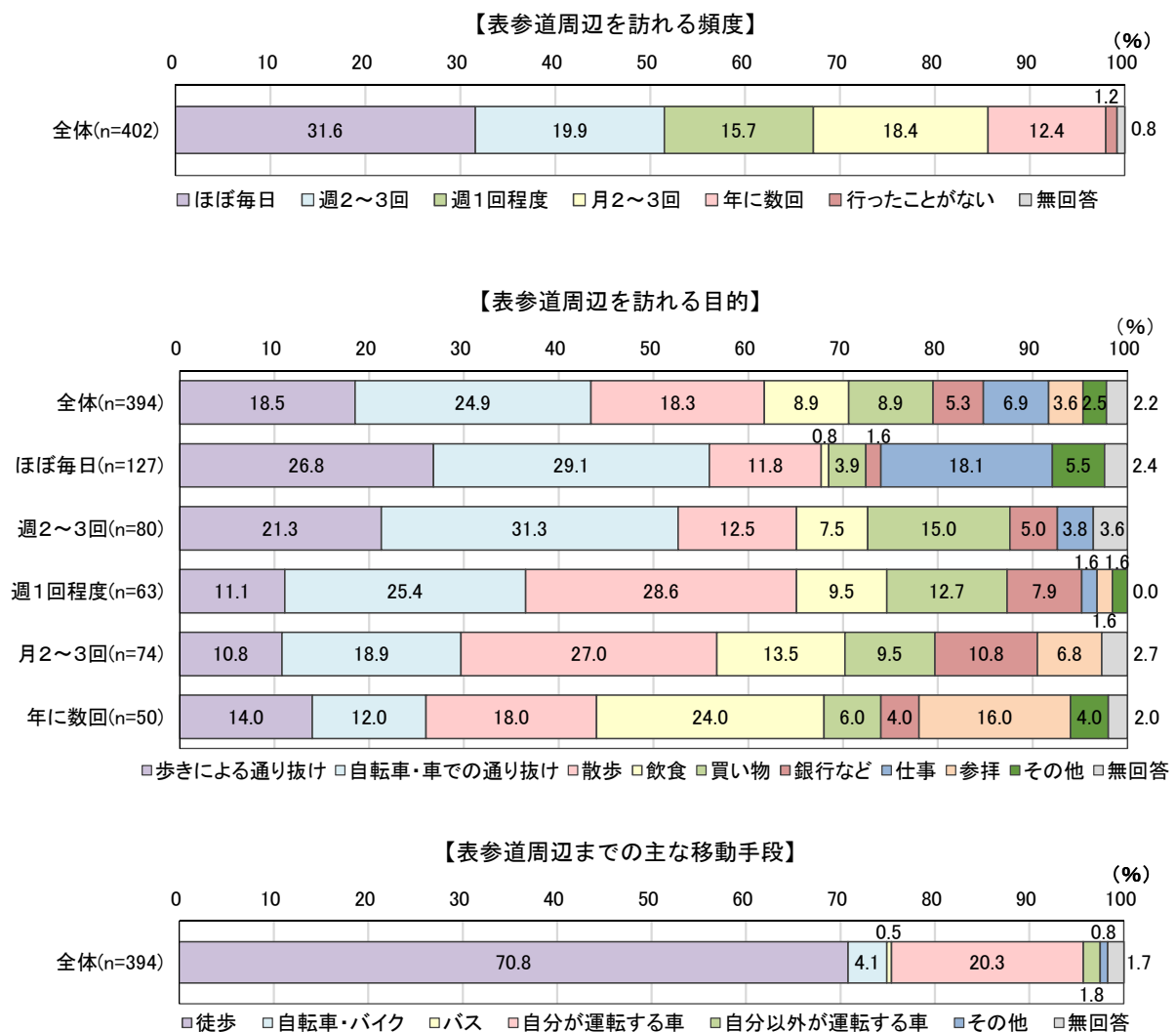


② 表参道周辺について

表参道周辺を訪れる頻度は「ほぼ毎日」が31.6%と最も多く、次いで、「週2～3回」が19.9%となっている。

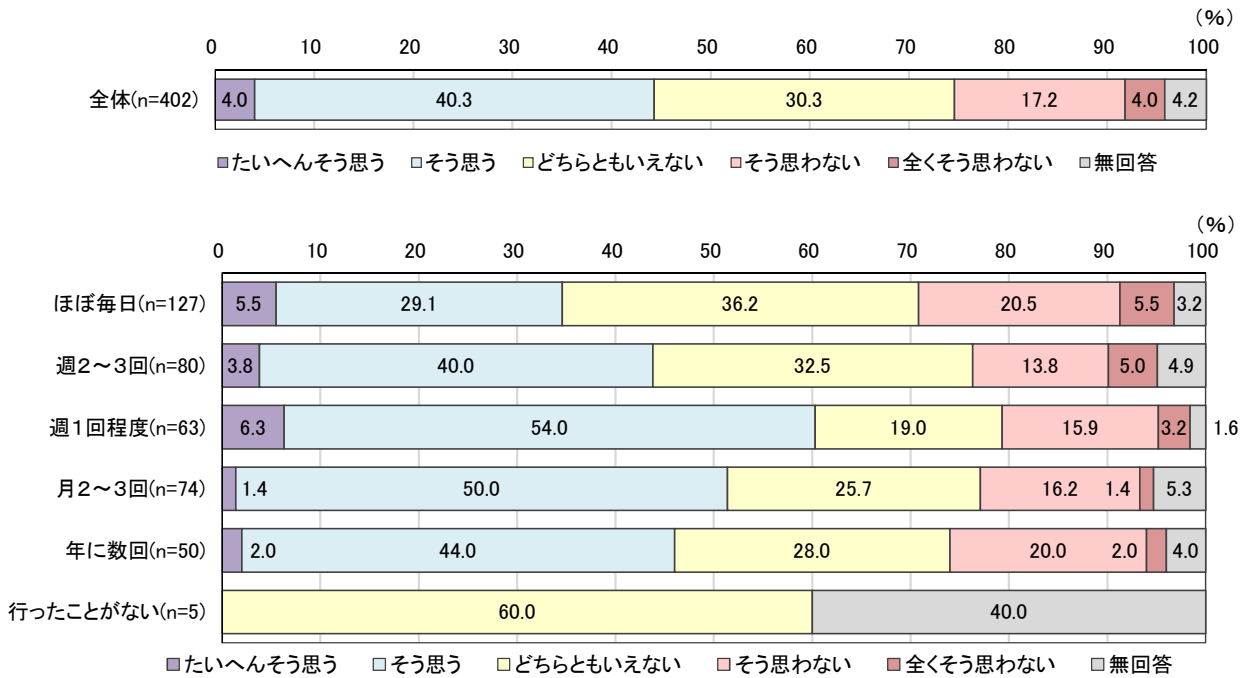
表参道周辺を訪れる頻度が「ほぼ毎日」「週2～3回」の人の訪れる目的は、どちらも「自転車・車での通り抜け」が最も多く、それぞれ29.1%、31.3%となっており、「歩きによる通り抜け」と合わせて5割以上となっている。一方で、「週1回程度」「月に2～3回」訪れる人では「散歩」が最も多く、それぞれ28.6%、27.0%となっている。

また、表参道周辺までの主な移動手段は「徒歩」が70.8%と最も多く、次いで、「自分が運転する車」が20.3%となっている。



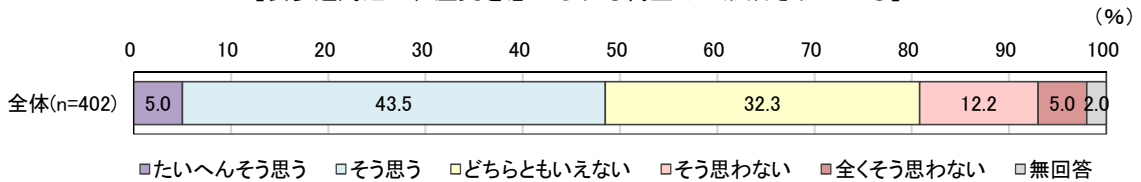
表参道周辺は、安全で、快適に歩けるようになったと思う人は、「たいへんそう思う」「そう思う」を合わせて44.3%となっている。一方で、「そう思わない」「全くそう思わない」を合わせると21.2%となっている。中でも、表参道周辺を訪れる頻度が「週1回程度」の人では、「たいへんそう思う」「そう思う」を合わせると60.3%と最も多くなっている。

【表参道周辺は、安全で、快適に歩けるようになった】



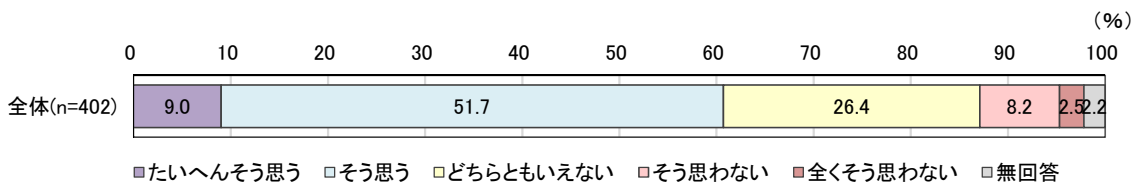
表参道周辺は、歴史を感じられる街並みが形成されていると思う人は、「たいへんそう思う」「そう思う」と合わせて48.5%となっている。一方で、「そう思わない」「全くそう思わない」を合わせると17.2%となっている。

【表参道周辺は、歴史を感じられる街並みが形成されている】



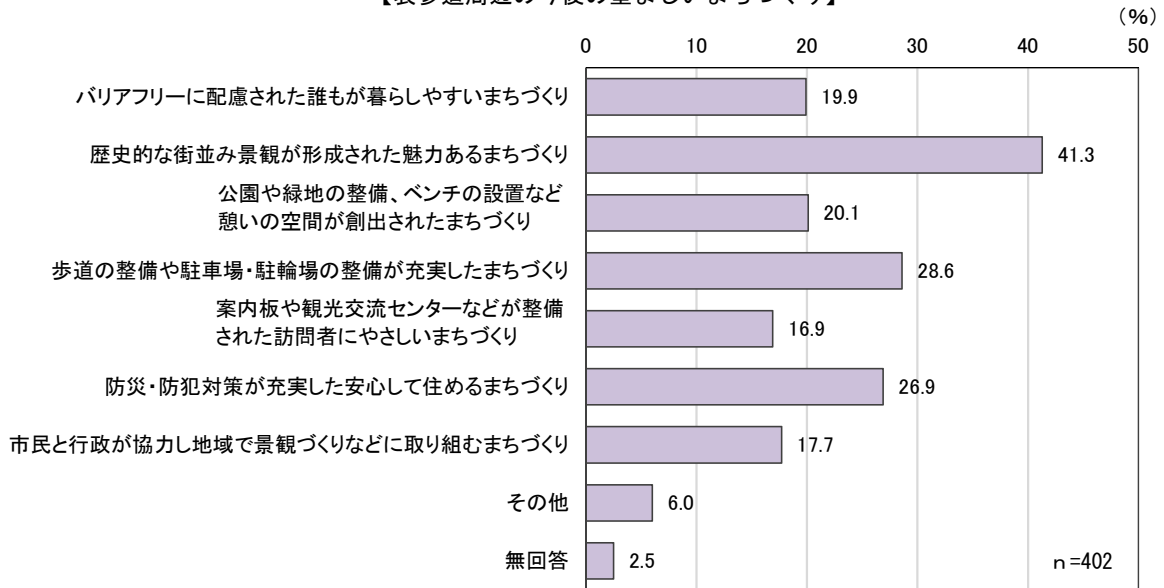
表参道周辺は、観光地らしいにぎわいを感じられると思う人は、「たいへんそう思う」「そう思う」を合わせて60.7%となっている。一方、「そう思わない」「全くそう思わない」を合わせると10.7%となっている。

【表参道周辺は、観光地らしいにぎわいを感じられる】



今後の望ましいまちづくりについては、「歴史的な街並み景観が形成された魅力あるまちづくり」が41.3%と最も多く、次いで、「歩道の整備や駐車場・駐輪場の整備が充実したまちづくり」が28.6%、「防災・防犯対策が充実した安心して住めるまちづくり」が26.9%となっている。

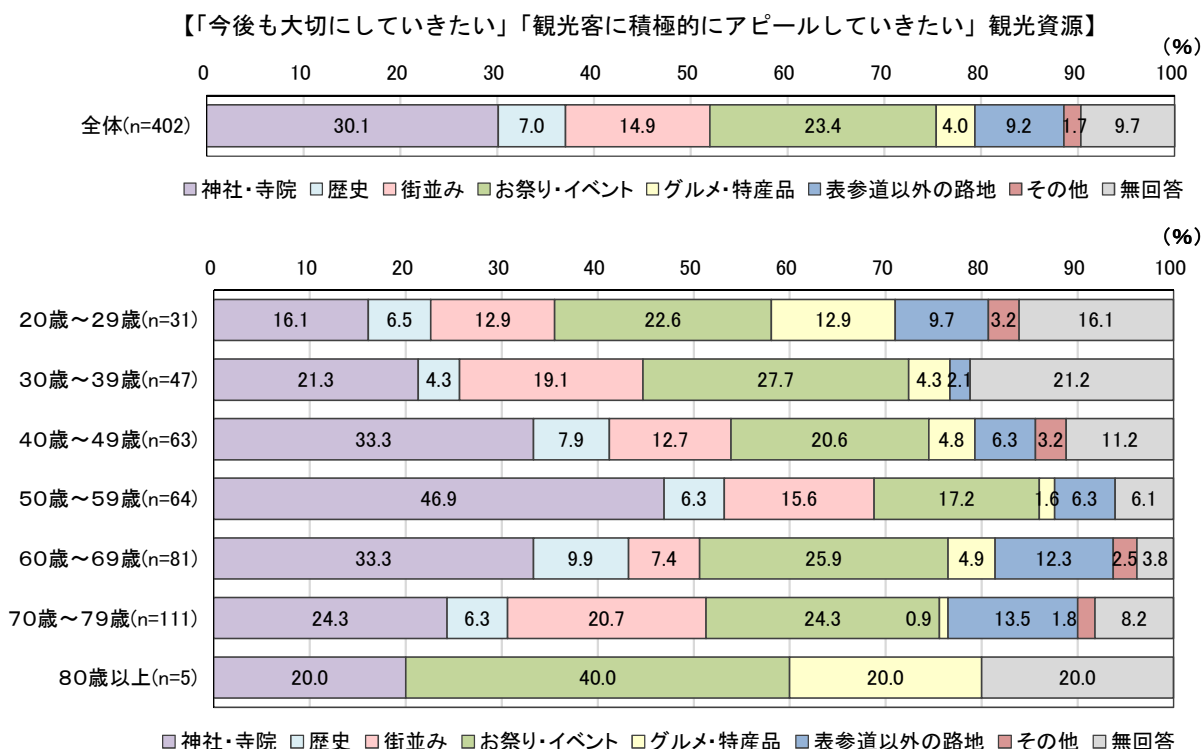
【表参道周辺の今後の望ましいまちづくり】



③ 成田駅周辺地区の魅力について

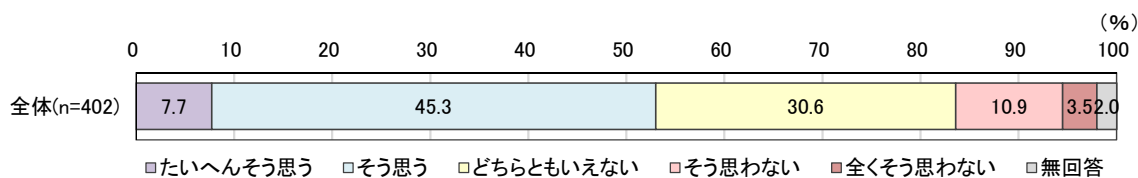
「今後も大切にしていきたい」「観光客に積極的にアピールしていきたい」と思う観光資源については、「神社・寺院」が30.1%と最も多く、次いで、「お祭り・イベント」が23.4%となっている。

年齢別では、「神社・寺院」については「50歳～59歳」で46.9%と最も多い。また、「お祭り・イベント」については80歳以上を除くと「30歳～39歳」で27.7%と最も多い。



成田駅周辺地区は魅力があり、誇りや愛着を持てるまちであると思う人は、「たいへんそう思う」「そう思う」を合わせて53.0%となっている。一方、「そう思わない」「全くそう思わない」を合わせると14.4%となっている。

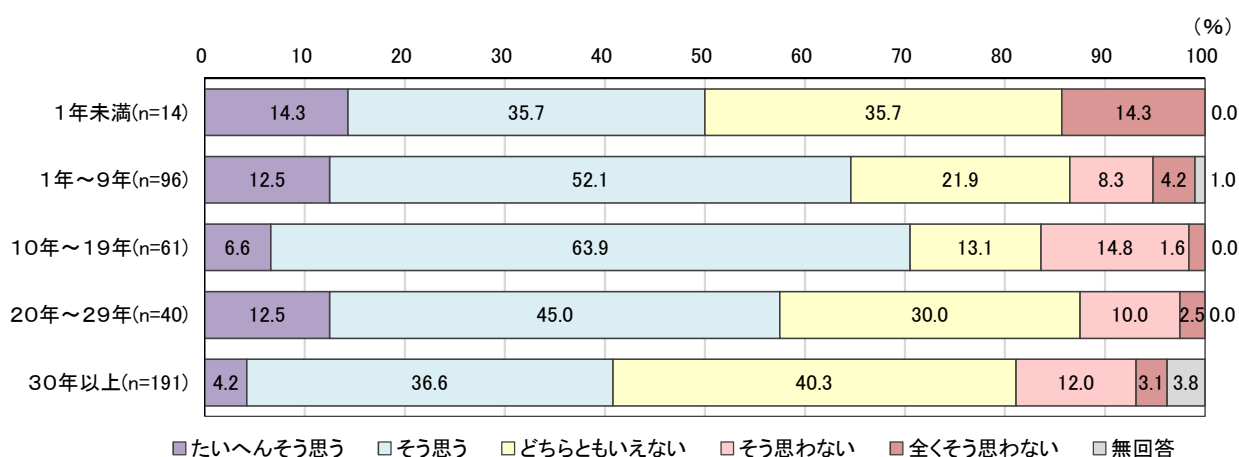
【成田駅周辺地区は魅力があり、誇りや愛着を持てるまちである】



居住年数別では、「たいへんそう思う」「そう思う」と答えた人が最も多いのは、「10年～19年」で70.5%となっており、次いで、「1年～9年」で64.6%となっている。

一方、「そう思わない」「全くそう思わない」と答えた人が最も多いのは、「10年～19年」で16.4%となっており、次いで、「30年以上」で15.1%となっている。

なお、「全くそう思わない」は1年未満で14.3%と、他の居住年数より多くなっている。

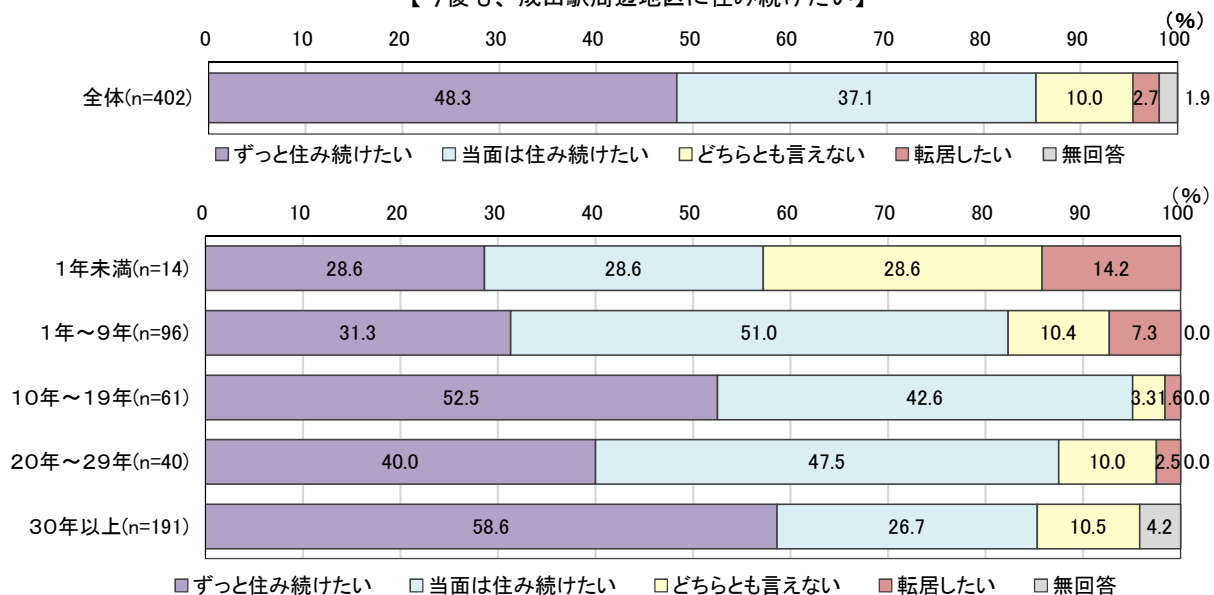


今後も、成田駅周辺地区に住み続けたいと思う人は、「ずっと住み続けたい」「当面は住み続けたい」と合わせて85.4%となっており、「転居したい」の2.7%を大きく上回っている。

居住年数別では、「ずっと住み続けたい」「当面は住み続けたい」と答えた人が最も多いのは、「10年～19年」で95.1%となっており、次いで「20年～29年」で87.5%となっている。

一方、「転居したい」と答えた人が最も多いのは、「1年未満」で14.2%となっており、次いで、「1年～9年」で7.3%となっている。

【今後も、成田駅周辺地区に住み続けたい】

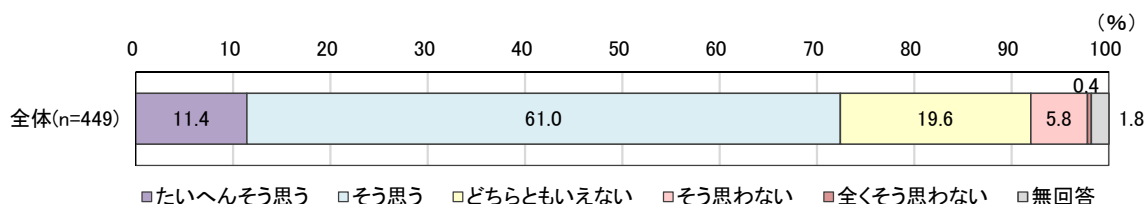


(2) 成田ニュータウン地区

① 成田ニュータウン全体について

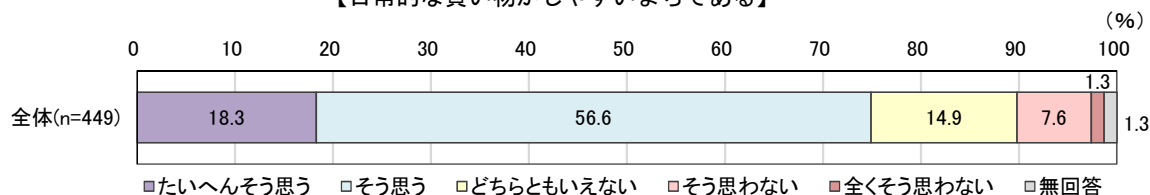
成田ニュータウンは、公共の施設やサービスが充実したまちであると感じる方は、「たいへんそう思う」「そう思う」と合わせて72.4%となっている。一方、「そう思わない」「全くそう思わない」を合わせると6.2%となっている。

【公共の施設やサービスが充実したまちである】



成田ニュータウンは、日常的な買い物がしやすいまちであると感じる方は、「たいへんそう思う」「そう思う」と合わせて74.9%となっている。一方、「そう思わない」「全くそう思わない」を合わせると8.9%となっている。

【日常的な買い物がしやすいまちである】



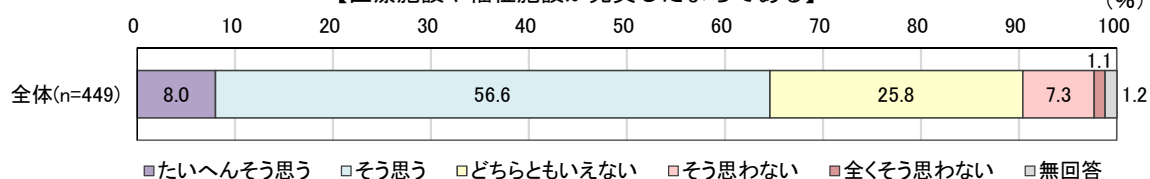
成田ニュータウンは、バスで移動しやすいまちであると感じる方は、「たいへんそう思う」「そう思う」と合わせて53.6%となっている。一方、「そう思わない」「全くそう思わない」を合わせると16.7%となっている。

【バスで移動しやすいまちである】

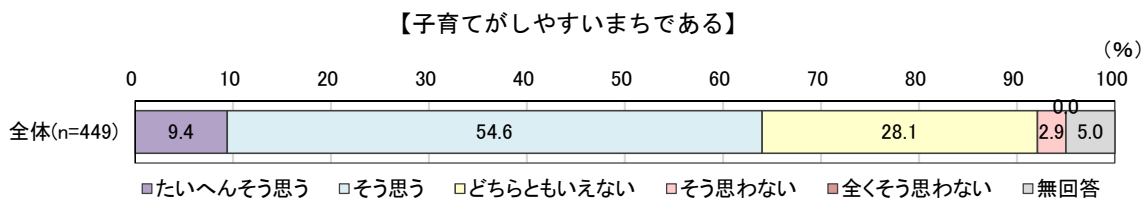


成田ニュータウンは、医療施設や福祉施設が充実したまちであると感じる方は、「たいへんそう思う」「そう思う」と合わせて64.6%となっている。一方、「そう思わない」「全くそう思わない」を合わせると8.4%となっている。

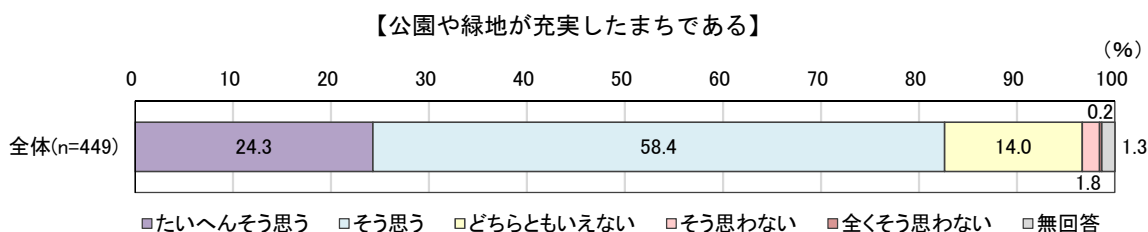
【医療施設や福祉施設が充実したまちである】



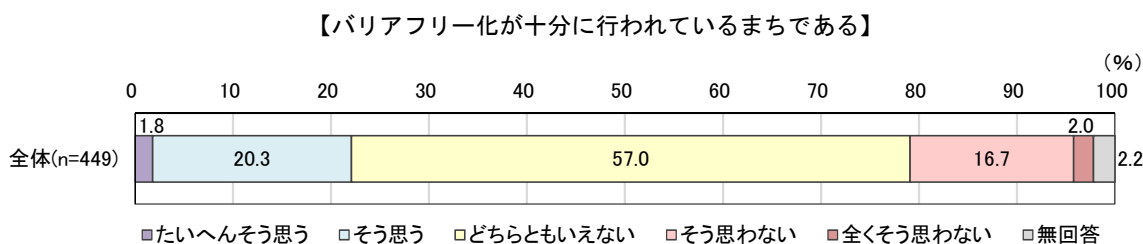
成田ニュータウンは、子育てがしやすいまちであると感じる方は、「たいへん思う」「そう思う」と合わせて 64.0%となっている。一方、「そう思わない」「全くそう思わない」を合わせると 2.9%となっている。



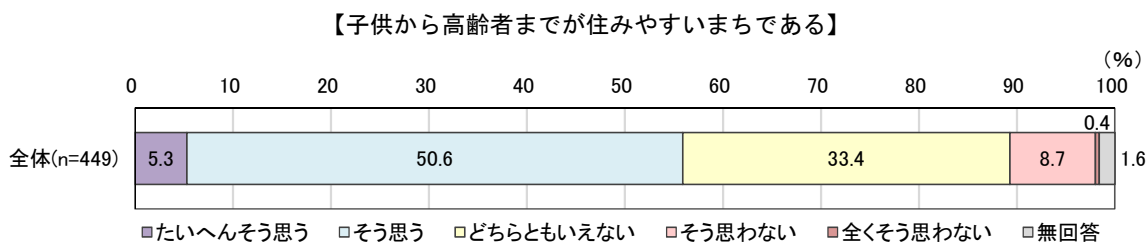
成田ニュータウンは、公園や緑地が充実したまちであると感じる方は、「たいへん思う」「そう思う」と合わせて 82.7%となっている。一方、「そう思わない」「全くそう思わない」を合わせると 2.0%となっている。



成田ニュータウンは、バリアフリー化が十分に行われているまちであると感じる方は、「たいへん思う」「そう思う」と合わせて 22.1%となっている。一方、「そう思わない」「全くそう思わない」を合わせると 18.7%となっている。

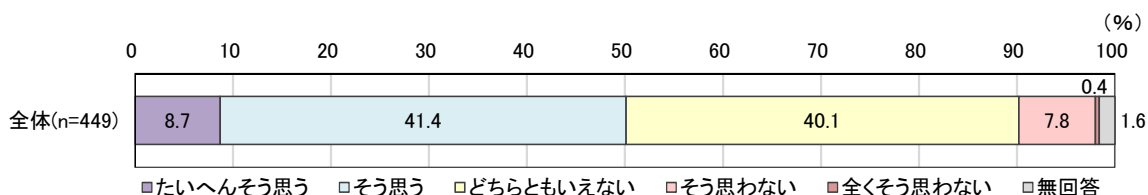


成田ニュータウンは、子供から高齢者までが住みやすいまちであると感じる方は、「たいへん思う」「そう思う」と合わせて 55.9%となっている。一方、「そう思わない」「全くそう思わない」を合わせると 9.1%となっている。



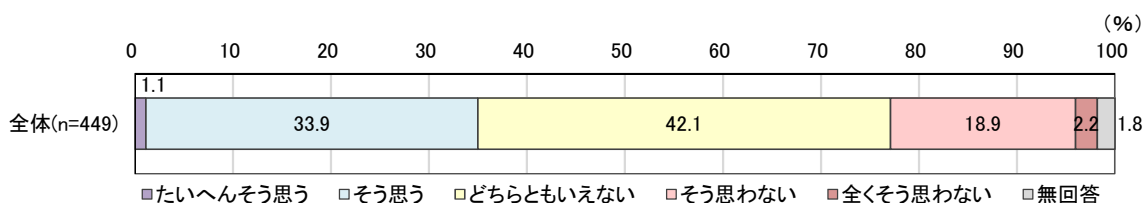
成田ニュータウンは、地震や水害などの自然災害に強いまちであると感じる方は、「たいへんそう思う」「そう思う」と合わせて50.1%となっている。一方、「そう思わない」「全くそう思わない」を合わせると8.2%となっている。

【地震や水害などの自然災害に強いまちである】



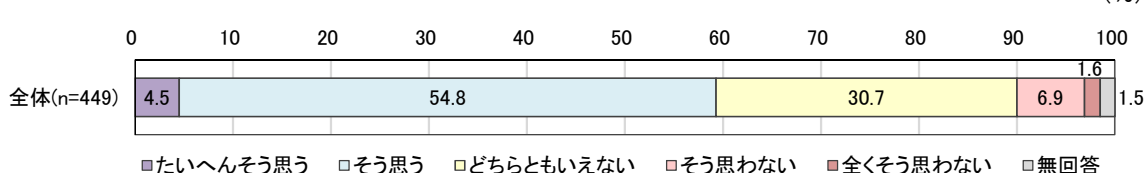
成田ニュータウンは、交通事故の危険性が低いまちであると感じる方は、「たいへんそう思う」「そう思う」と合わせて35.0%となっている。一方、「そう思わない」「全くそう思わない」を合わせると21.1%となっている。

【交通事故の危険性が低いまちである】



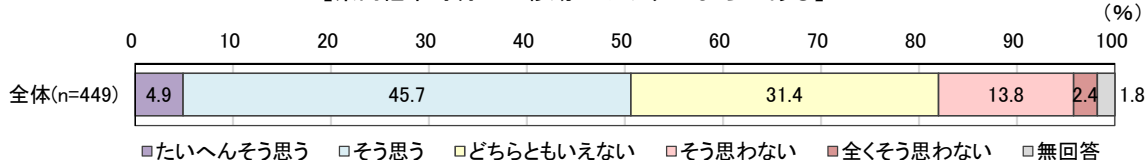
成田ニュータウンは、治安のよいまちであると感じる方は、「たいへんそう思う」「そう思う」と合わせて59.3%となっている。一方、「そう思わない」「全くそう思わない」を合わせると8.5%となっている。

【治安のよいまちである】



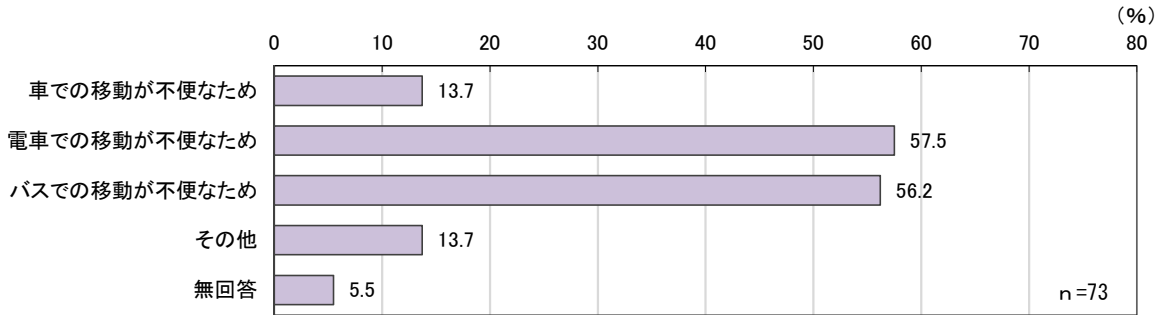
成田ニュータウンは、県内他市町村への移動がしやすいまちであると感じる方は、「たいへんそう思う」「そう思う」と合わせて50.6%となっている。一方、「そう思わない」「全くそう思わない」を合わせると16.2%となっている。

【県内他市町村への移動がしやすいまちである】



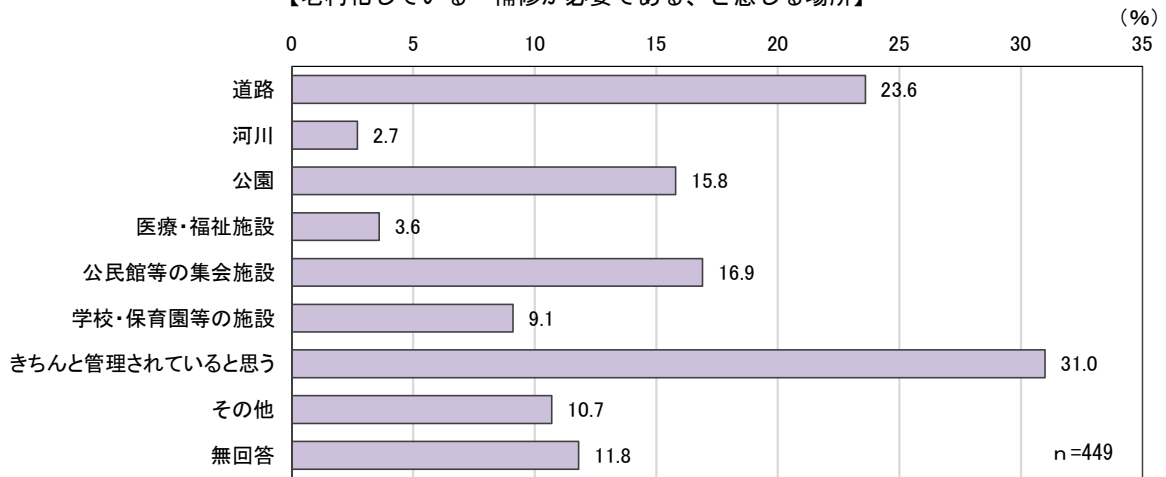
成田ニュータウンは、県内他市町村への移動がしやすいまちであると思わない理由としては、「電車での移動が不便なため」が最も多く57.5%となっている。次いで、「バスでの移動が不便なため」が56.2%となっている。

【県内他市町村への移動がしやすいまちであると思わない理由】



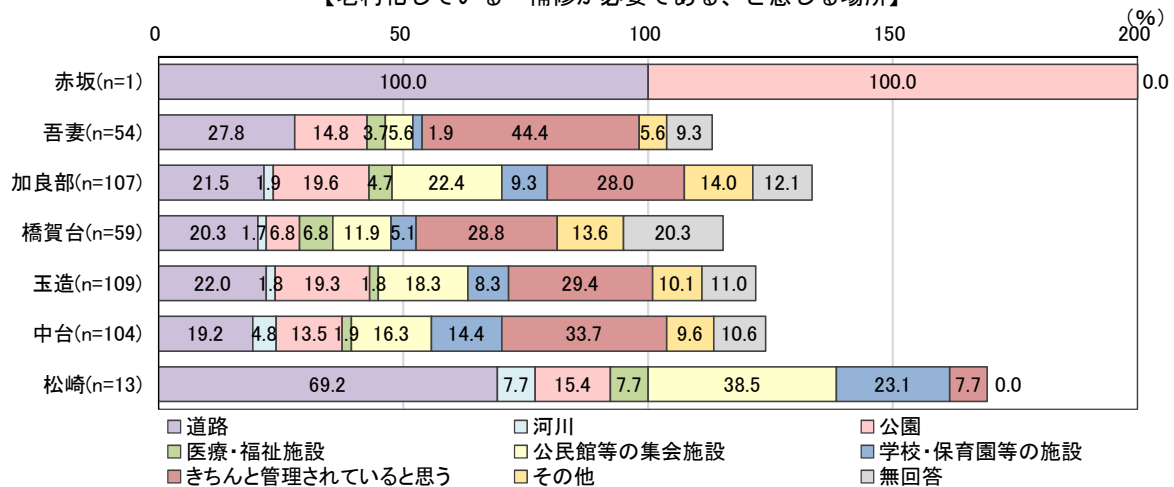
居住地区において、老朽化している・補修が必要であると感じる場所については、「きちんと管理されていると思う」が31.0%と最も多い結果となっている。次いで、「道路」が23.6%、「公民館等の集会施設」が16.9%、「公園」が15.8%となっている。

【老朽化している・補修が必要である、と感じる場所】



また、地区別では、「きちんと管理されていると思う」と回答した人が多いのは「吾妻」で44.4%となっており、「道路」と回答した人が最も多いのは「赤坂」を除くと「松崎」で69.2%となっている。

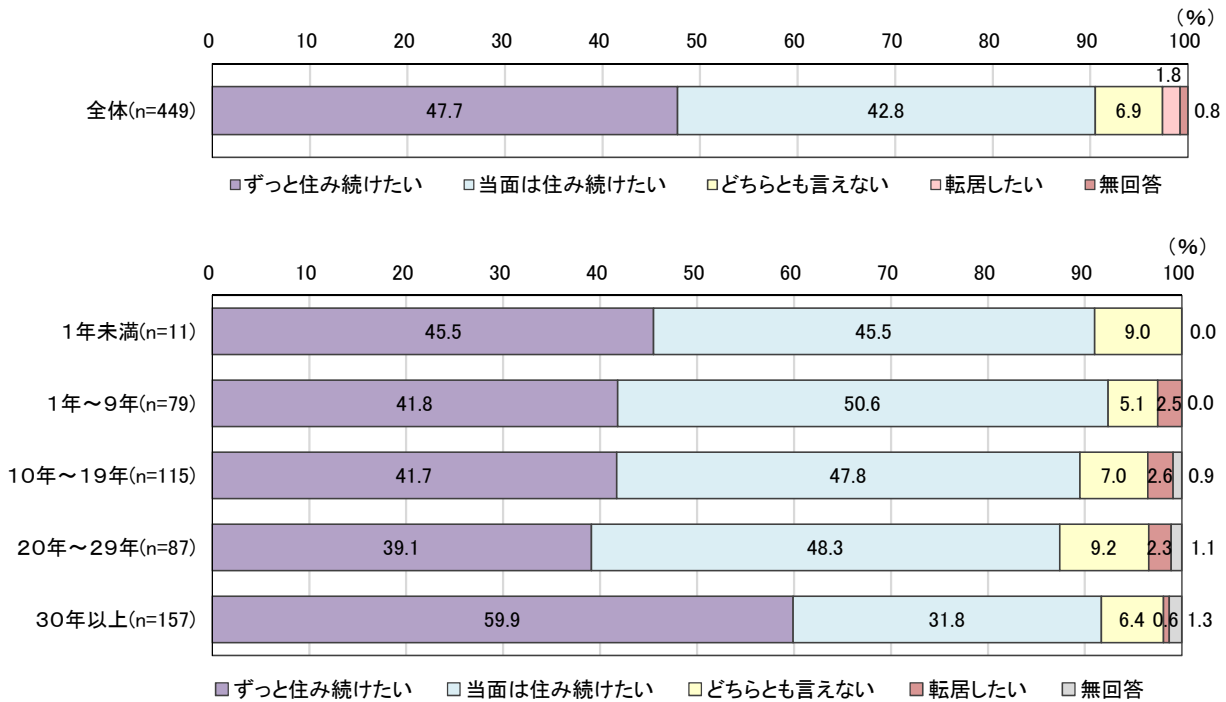
【老朽化している・補修が必要である、と感じる場所】



今後も、現在の居住地に住み続けたいと思う人は、「ずっと住み続けたい」「当面は住み続けたい」と合わせて90.5%となっている。一方、「転居したい」は1.8%となっている。

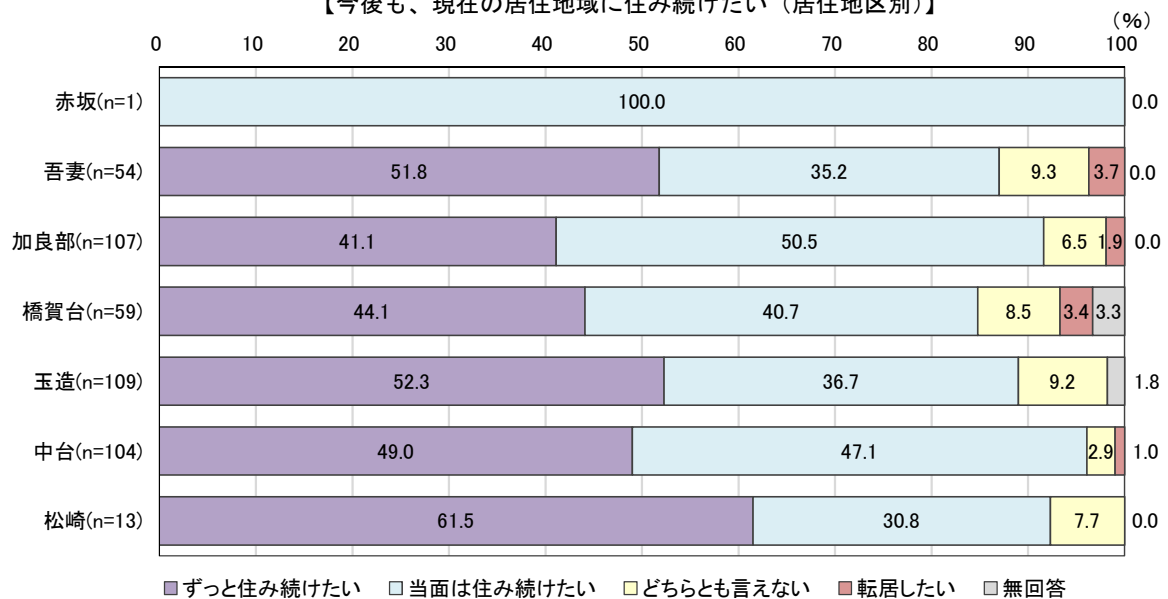
居住年数別では、「ずっと住み続けたい」「当面は住み続けたい」と答えた人が最も多いのは、「1年～9年」で92.4%となっており、次いで「30年以上」で91.7%となっている。

【今後も、現在の居住地に住み続けたい】



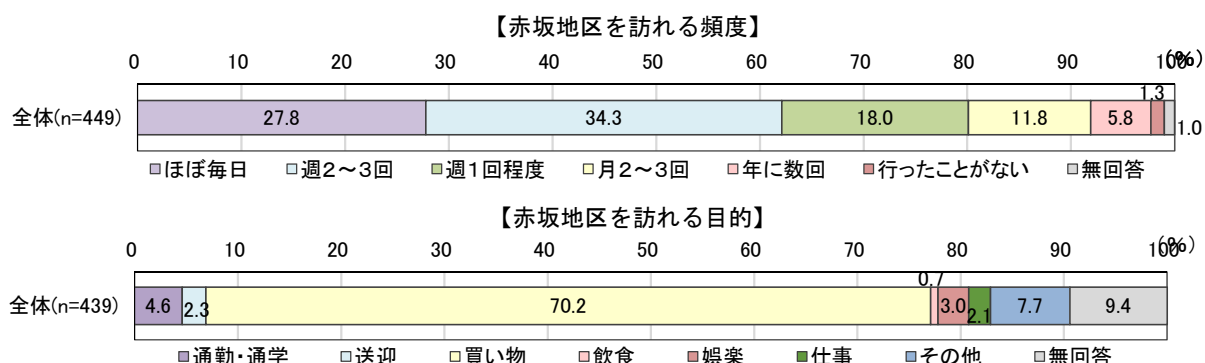
地区別では、「ずっと住み続けたい」「当面は住み続けたい」は、どの地区でも80%以上となっており、「転居したい」は「吾妻」で3.7%と最も多く、次いで、「橋賀台」で3.4%となっている。

【今後も、現在の居住地に住み続けたい（居住地区別）】



② 赤坂地区について

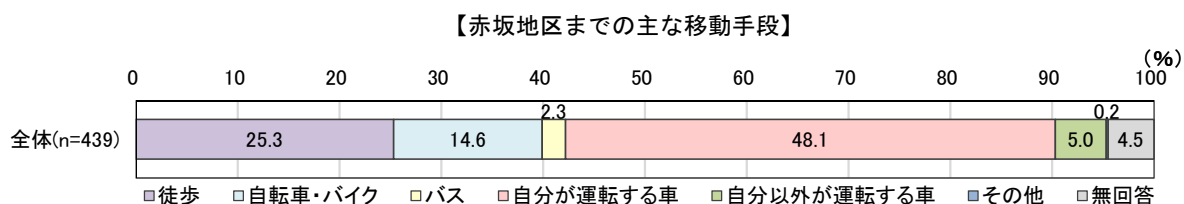
赤坂地区を訪れる頻度は「週2～3回」が34.3%と最も多く、次いで、「ほぼ毎日」が27.8%となっており、訪れる目的は「買い物」が70.2%と最も多い。



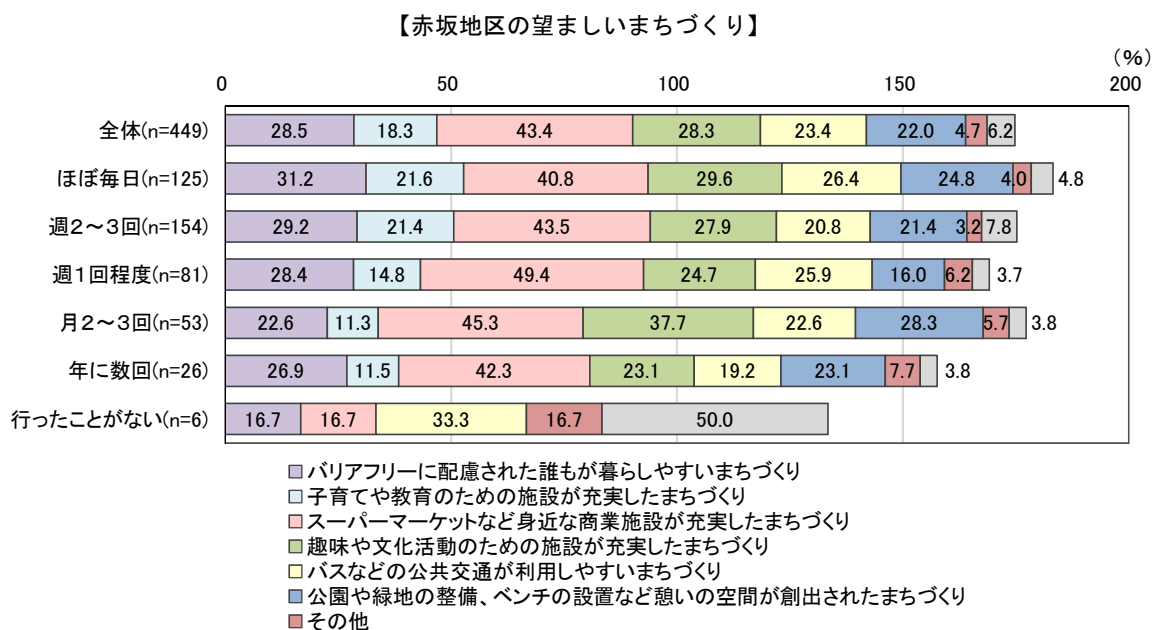
■ その他 ■ (キーワードで集計：複数のキーワードを含む回答はそれぞれに計上)

具体的な内容	散歩	銀行	図書館	趣味やサークル	居住	送迎	その他
回答数	9	4	4	4	3	3	4

赤坂地区までの主な移動手段は「自分が運転する車」が48.1%と最も多く、次いで、「徒歩」が25.3%となっている。

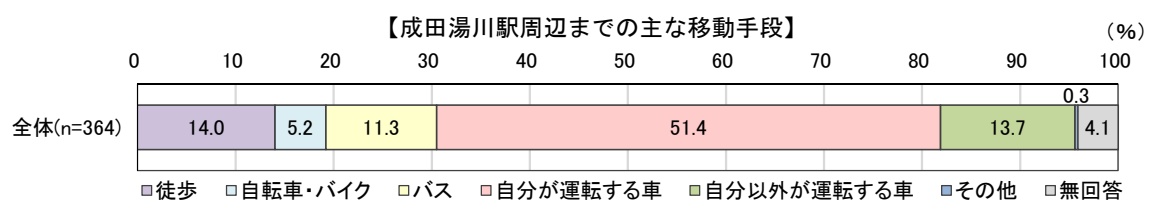
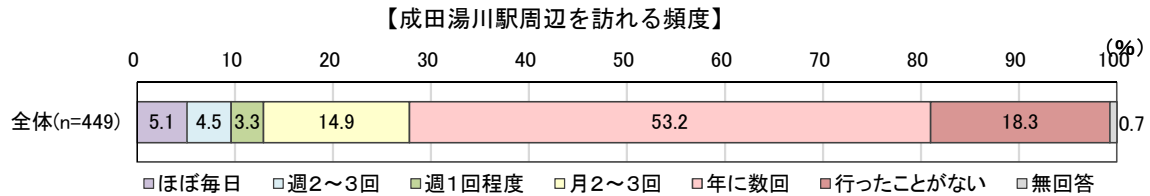


赤坂地区の望ましいまちづくりは、「スーパーマーケットなど身近な商業施設が充実したまちづくり」が43.4%と最も多く、次いで、「バリアフリーに配慮された誰もが暮らしやすいまちづくり」が28.5%となっている。



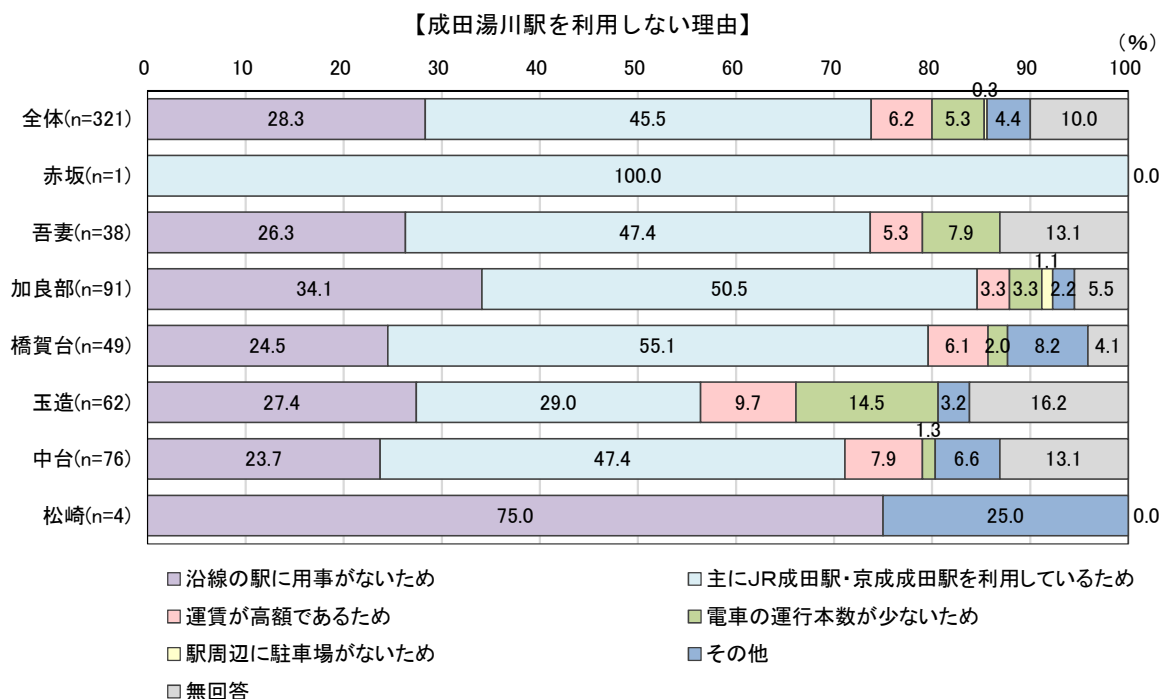
③ 成田湯川駅周辺について

成田湯川駅周辺を訪れる頻度は「年に数回」が53.2%と最も多い。次いで、「行ったことがない」が18.3%となっている。成田湯川駅周辺までの主な移動手段は「自分が運転する車」が51.4%となっており、次いで、「徒歩」が14.0%となっている。

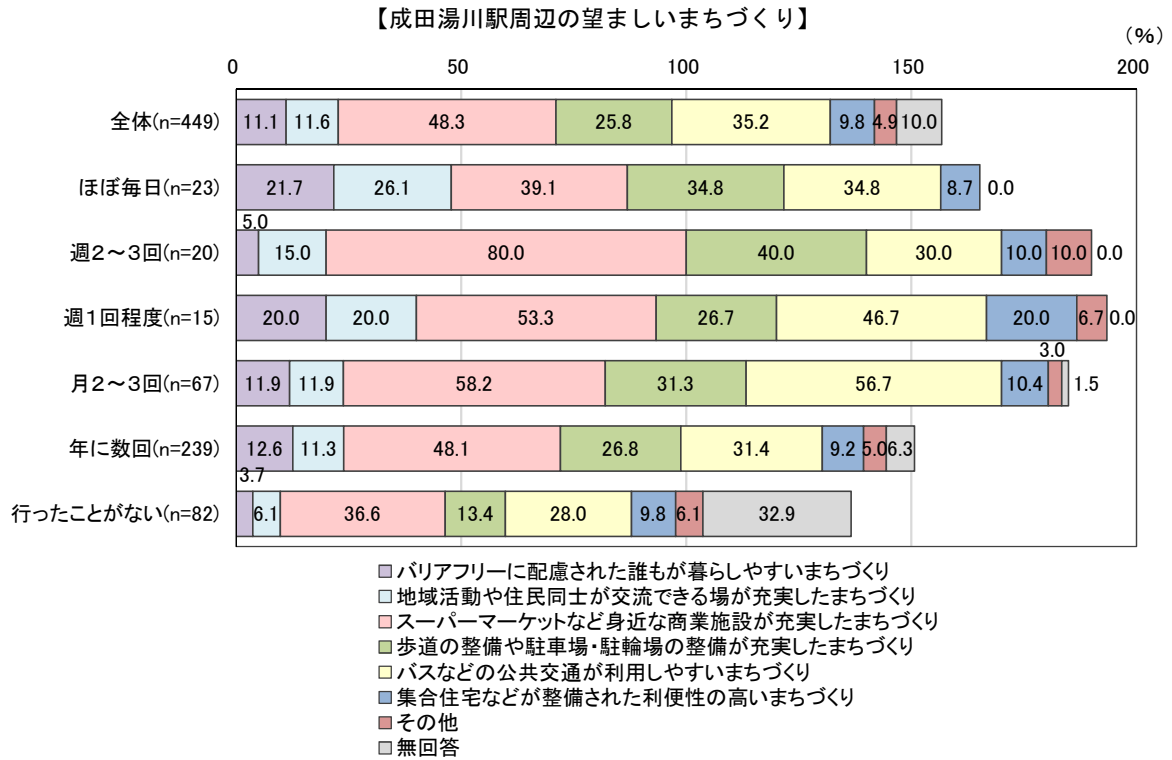


成田湯川駅を利用しない理由は、「主に JR 成田駅・京成成田駅を利用しているため」が45.5%と最も多く、次いで、「沿線の駅に用事がないため」が28.3%となっている。他の理由では、「運賃が高額であるため」は6.2%、「電車の運行本数が少ないため」は5.3%、「駅周辺に駐車場がないため」は0.3%となっている。

また、居住地域別で見ると、「松崎」を除く他の地域では「主に JR 成田駅・京成成田駅を利用しているため」が最も多くなっている。



成田湯川駅周辺の望ましいまちづくりは、「スーパーマーケットなど身近な商業施設が充実したまちづくり」が48.3%と最も多くなっている。次いで、「バスなどの公共交通が利用しやすいまちづくり」が35.2%、「歩道の整備や駐車場・駐輪場の整備が充実したまちづくり」が25.8%となっている。

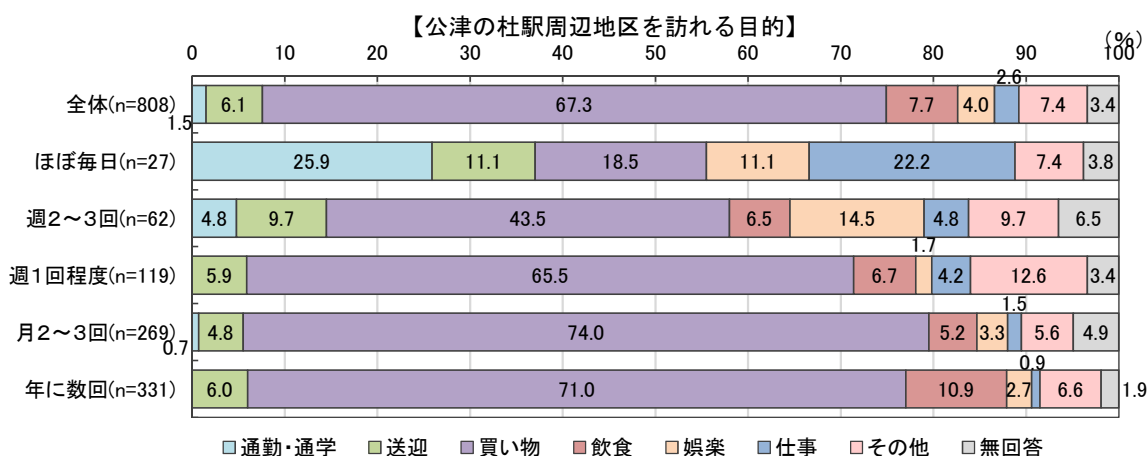
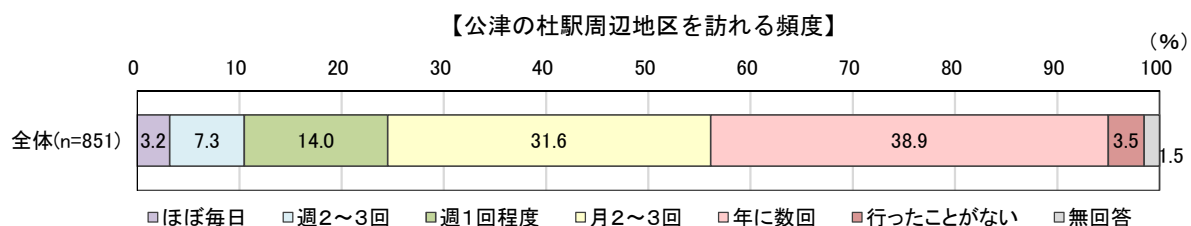


(3) 公津の杜駅周辺地区

公津の杜駅周辺地区を訪れる頻度は「年に数回」が38.9%と最も多く、次いで、「月に2～3回」が31.6%となっている。

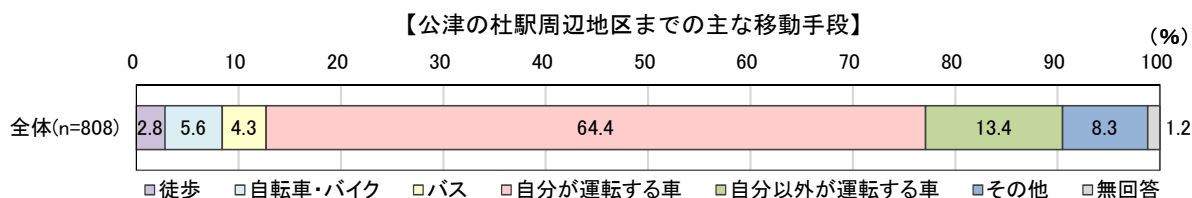
訪れる目的は「買い物」が67.3%と最も多く、次いで、「飲食」が7.7%となっている。なお、「ほぼ毎日」では「通勤・通学」が25.9%と最も多く、次いで、「仕事」が22.2%となっている。

また、公津の杜駅周辺までの主な移動手段では「自分が運転する車」が64.4%と最も多く、次いで、「自分以外が運転する車」が13.4%となっている。なお、その他の回答における「電車」が61件となっており、自分や自分以外が運転する車に次いで多くなっている。



■ その他 ■ (キーワードで集計：複数のキーワードを含む回答はそれぞれに計上)

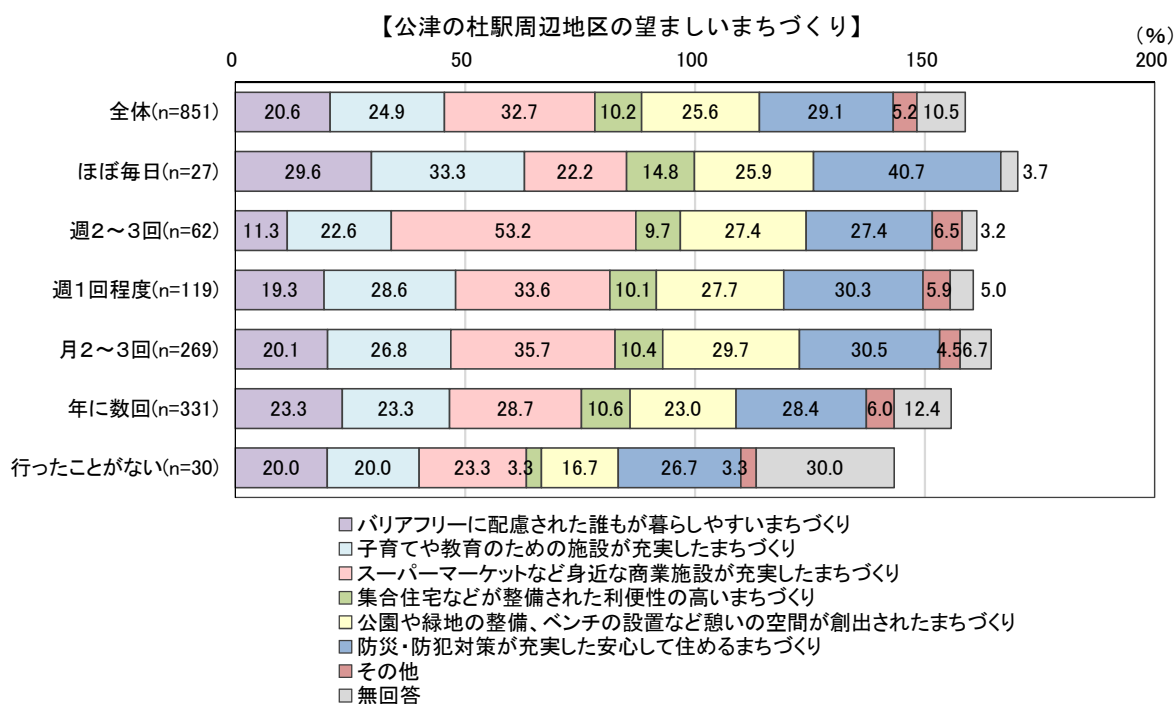
具体的な内容	病院	習い事	散歩	運動 (ジム)	給油	図書館	その他
回答数	21	7	3	7	2	2	7



■ その他 ■ (キーワードで集計：複数のキーワードを含む回答はそれぞれに計上)

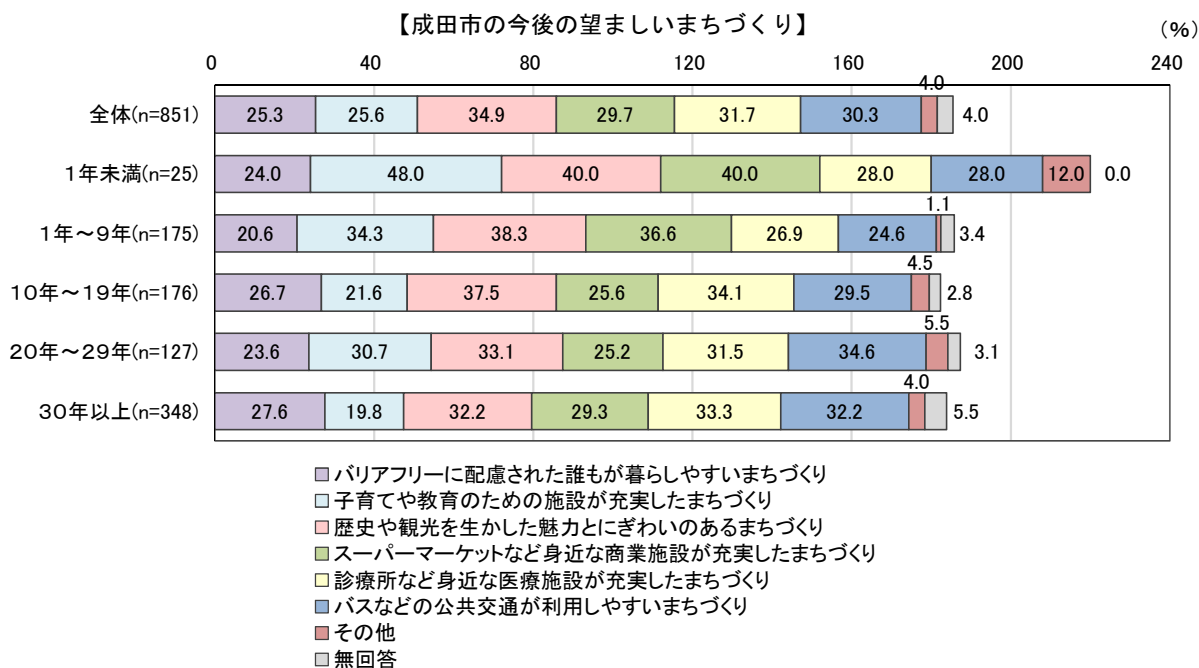
具体的な内容	電車	タクシー	複数の交通手段
回答数	61	2	4

公津の杜駅周辺地区の望ましいまちづくりは、「スーパーマーケットなど身近な商業施設が充実したまちづくり」が32.7%と最も多く、次いで、「防災・防犯対策が充実した安心して住めるまちづくり」が29.1%となっている。



(4) 成田市の今後のまちづくり

成田市の今後の望ましいまちづくりは、「歴史や観光を生かした魅力とにぎわいのあるまちづくり」が34.9%と最も多く、次いで、「診療所など身近な医療施設が充実したまちづくり」が31.7%となっている。



アンケート調査の整理と今後の課題

(1) 成田駅周辺地区

① 成田駅周辺について

調査結果より、成田駅周辺地区に居住する人の成田駅周辺を利用する状況と、地域に対する評価を整理すると、概ね以下のとおりとなる。

- ほぼ毎日、成田駅周辺を訪れている人の6割半ばは通勤・通学や送迎を目的としている。また、週に複数回、成田駅周辺を訪れている人の約4割は、買い物や飲食、娯楽を目的として来訪している。
- 約6割の人が、JR成田駅参道口と京成成田駅参道口・東口間において徒歩での移動がしやすくなったと思っている。
- 成田駅周辺の今後のまちづくりについて、5割半ばの人が「スーパーマーケットなど身近な商業施設が充実したまちづくり」が望ましいと思っている。

② 表参道周辺について

調査結果より、成田駅周辺地区に居住する人が表参道周辺を利用する状況と、地域に対する評価を整理すると、概ね以下のとおりとなる。

- 約5割の人が、週に複数回は表参道周辺を訪れているが、そのうち半数以上は、徒歩または自転車で通り抜けるための来訪となっており、週1回程度またはそれより来訪頻度が少ない人のうち約4割は、「散歩」や「飲食」を目的として来訪している。
- 4割半ばの人が、表参道周辺は安全で、快適に歩けるようになったと思っている。
- 5割弱の人が、表参道周辺は歴史を感じられる街並みが形成されていると思っている。
- 約6割の人が、表参道周辺は観光地らしいにぎわいが感じられると思っている。
- 表参道周辺の今後のまちづくりについて、約4割の人が「歴史的な街並み景観が形成された魅力あるまちづくり」が望ましいと思っている。

③ 成田駅周辺地区の魅力について

調査結果より、成田駅周辺地区に居住する人が感じる成田駅周辺地区の魅力について整理すると、概ね以下のとおりとなる。

- 約5割の人が、「神社・寺院」「歴史」「街並み」など歴史を感じさせる資産について、今後も大切にしていきたい、観光客に積極的にアピールしていきたいと思っている。
- 約5割の人が、成田駅周辺地区は魅力があり、誇りや愛着を持てるまちであると思っており、特に、居住年数が10年以上20年未満の人では約7割となっている。一方、30年以上居住している人では約4割と、他の居住年数の人より少なくなっている。
- 8割半ばの人が、今後も成田駅周辺地区に住み続けたいと思っており、特に、居住年数が10年以上20年未満の人では、9割半ばと高くなっている。一方、1年未満の人では6割弱となっており、転居したいと考えている人は他の居住年数の人より多い結果となった。

—今後の課題—

- ・ 成田駅周辺の今後のまちづくりについて、5割半ばの人が「スーパーマーケットなど身近な商業施設が充実したまちづくり」が望ましいと感じており、引き続き、駅周辺における歩行環境の整備を推進し、駅前空間のにぎわいの創出や都市機能の充実を図ることで、駅周辺の利便性・快適性の向上を図る必要がある。
- ・ 表参道周辺の今後のまちづくりについて、約4割の人が「歴史的な街並み景観が形成された魅力あるまちづくり」が望ましいと感じており、今後も表参道の整備された街並み景観の適切な維持管理に努め、門前町の歴史資源を大切にしたいまちづくりを推進していく必要がある。
- ・ 居住者が誇りや愛着を持つことができ、これからも住み続けたいと感じられるような魅力あるまちづくりに向けた取り組みが必要である。

(2) 成田ニュータウン地区

① 成田ニュータウン全体について

調査結果より、成田ニュータウン地区に居住する人の、成田ニュータウン全体の住環境に対する評価を整理すると、概ね以下のとおりとなる。

- 約7割の人が、公共の施設やサービスが充実したまちであると感じており、約6割の人が、医療施設や福祉施設が充実したまちであると感じている。
- 約7割の人が、日常的な買い物がしやすいまちであると感じており、約8割の人が、公園や緑地が充実したまちであると感じている。
- 約6割の人が、子育てがしやすいまちであると感じており、5割半ばの人が、子供から高齢者までが住みやすいまちであると感じている。
- 6割弱の人が、治安のよいまちであると感じており、約5割の人が、災害や水害などの自然災害に強いまちであると感じている。
- 約5割の人が、県内他市町村への移動がしやすいまちであると感じており、同じく約5割の人が、バスで移動しやすいまちであると感じている。
- 一方で、バリアフリー化が十分におこなわれているまちであると思う人は約2割、交通事故の危険性が低いまちであると思う人は3割半ばにとどまっている。
- 居住地区における施設については、きちんと管理されていると思うとの回答が約3割で最多となっている一方で、約2割の人が道路について、1割半ばの人が公園や公民館等の集会施設について、老朽化している、補修が必要であると感じている。
- 約9割の人が、今後も現在の居住地域に住み続けたいと思っている。

② 赤坂地区について

調査結果より、成田ニュータウン地区に居住する人が、赤坂地区を利用する状況を整理すると、概ね以下のとおりとなる。

- 週1回以上、赤坂地区を訪れる人は約8割となっており、その中で週2～3回訪れる人が最も多く3割半ば、次いで、ほぼ毎日訪れる人が3割弱となっている。
- 赤坂地区を訪れる人の目的は、買い物が約7割を占めている。
- 赤坂地区を訪れる人の半数以上は、自分や自分以外が運転する車を利用している。
- 赤坂地区の今後のまちづくりについて、訪れる頻度に関わらず約4～5割の人が「スーパーマーケットなど身近な商業施設が充実したまちづくり」を、約2～3割の人が「バリアフリーに配慮された誰もが暮らしやすいまちづくり」「趣味や文化活動のための施設が充実したまちづくり」を望んでいる。

③ 成田湯川駅周辺について

調査結果より、成田ニュータウン地区に居住する人が、成田湯川駅周辺を利用する状況を整理すると、概ね以下のとおりとなる。

- 成田湯川駅周辺を訪れる頻度については、年に数回と回答した人が約5割と最も多く、成田湯川駅に行ったことがない人は2割弱であった。
- 6割半ばの人が、成田湯川駅周辺を来訪する際に自分や自分以外が運転する車を利用している。
- 成田湯川駅を利用しない理由は、「主に JR 成田駅・京成成田駅を利用しているため」、「沿線の駅に用事がないため」を合わせて約7割となっている。
- 成田湯川駅周辺の今後のまちづくりについては、訪れる頻度に関わらず5割弱の人が「スーパーマーケットなど身近な商業施設が充実したまちづくり」が望ましいと思っている。

—今後の課題—

- ・成田ニュータウン全体については、約6割～7割の人が、公共施設・医療施設が充実しており、日常的な買い物や子育てのしやすいまちであると感じているため、引き続き、施設やサービスが充実した、幅広い世代が暮らしやすいまちづくりを推進する必要がある。
- ・その一方で、バリアフリー化が十分に行われているまちであると感じる人や、交通事故の危険性が低いまちであると思う人は約2割～3割にとどまっているため、バリアフリー化の推進や道路整備など、地域の安全性向上に向けた取り組みを進めていく必要がある。
- ・地域の中で老朽化している・補修が必要であると感じている人が比較的多い道路や公園、公民館等の集会施設について、老朽化対策や補修に向けた検討を行う必要がある。
- ・赤坂地区や成田湯川駅周辺については、身近な商業施設が充実したまちづくりが望ましいとの意見が多く、都市機能を集約するなど、来訪者の利便性を高めるための取り組みが必要である。

(3) 公津の杜駅周辺地区

調査結果より、公津の杜駅周辺を利用する人の特徴を整理すると、概ね以下のとおりとなる。

- 公津の杜駅周辺を訪れる人は、月に2～3回、年に数回訪れる人を合わせて約7割となっており、訪れる目的の8割弱は買い物や飲食、娯楽となっている。
- 公津の杜駅周辺をほぼ毎日訪れる人は、通勤・通学、仕事を目的とする人が多い。
- 公津の杜駅周辺を訪れる際の移動手段は、自分や自分以外が運転する車が8割弱となっている。
- 公津の杜駅周辺の今後のまちづくりについては、全体では「スーパーマーケットなど身近な商業施設が充実したまちづくり」が望ましいとの回答が最も多く、次いで「防災・防犯対策が充実した安心して住めるまちづくり」が望ましいとの回答が多かった。

—今後の課題—

- ・公津の杜駅周辺のまちづくりにおいては、商業施設などの都市機能の集約や、地域の安全性向上に向けた取り組みを検討する必要がある。

(4) 成田市の今後のまちづくり

調査結果より、成田市の今後の望ましいまちづくりを整理すると以下の通りとなる。

- 全体の回答では、「歴史や観光を生かした魅力とにぎわいのあるまちづくり」が最も多かった。
- 居住年数が短い人では、「子育てや教育のための施設が充実したまちづくり」、「スーパーマーケットなど身近な商業施設が充実したまちづくり」を望む人が多くなっている。

—今後の課題—

- ・歴史や観光を生かしたにぎわいの感じられるまちづくりを推進し、子育て支援施設や商業施設などの都市機能を充実させることで、居住者が暮らしやすいまちづくりを進めていく必要がある。